



小学校の新しい複合遊具で遊ぶ児童

2017
No.28

平成29年5月1日発行

- 平成29年度当初予算を可決 一般会計 前年度比0.5%減 P2~3
- 新年度 議会が注目する事業はこれだ!! P4~5
- 当初予算をチェック! P6~7
- 3月定例会で決まったこと P8~10
- 鳴沢村診療所開業医誘致事業の進捗状況など P11
- 一般質問 村政を問う!! P12~14
- 議員レポート「一般質問に思うこと/議員のなり手不足の要因と課題」 P15
- 村民の声「次世代に引き継げる農業を目指して」 P16

防災設備を充実強化！

3月定例会 〈会期：3月9日～17日(9日間)〉

今定例会では、平成29年度の事業と予算を決定する当初予算をはじめ、平成28年度補正予算、長期総合計画(※)基本構想の策定など合計22議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

当初予算の審議では、老朽化した消防車両の新規購入費や、災害時の情報伝達手段としてのIP無線機(※)の導入費などが可決されました。(詳細はP4～5)

また、会期中には全員協議会を開催し、診療所誘致事業や東京オリンピック事前合宿誘致の進捗状況、長期総合計画の内容などについて説明を受けました。(詳細はP11)

最終日には一般質問に5名の議員が登壇し、除雪機の購入補助金導入や水道料金の定期的な見直し、小学校における薬物乱用防止講話の検討など、様々な角度から村の姿勢を問い質しました。(詳細はP12～14)

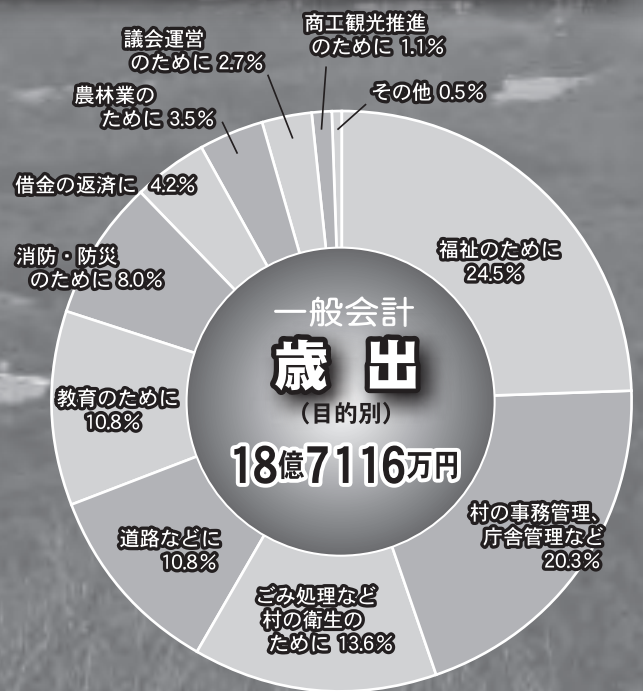
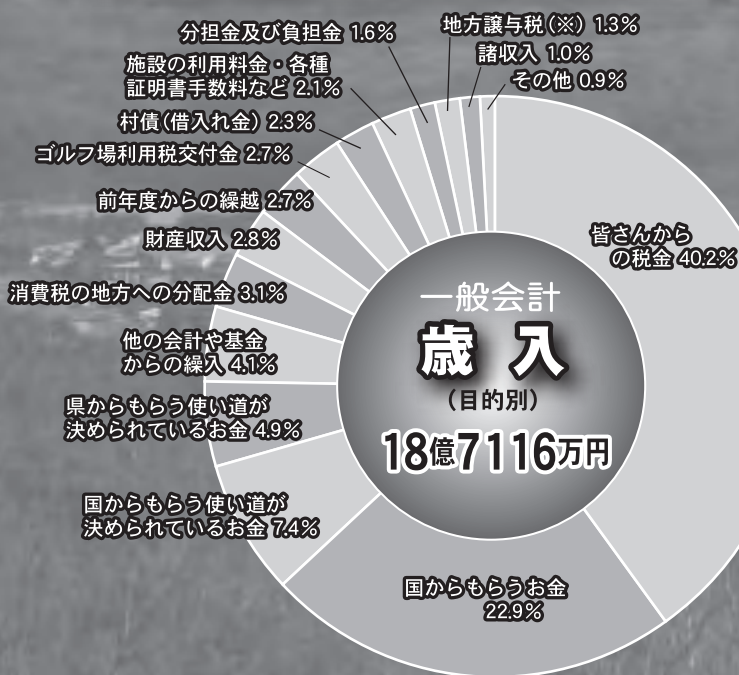


※長期総合計画

自治体の行政運営の基本的な方向性を定める長期的な計画。

※IP無線機

携帯電話回線の通信網を使用した次世代型トランシーバー。携帯電話の入る場所であれば日本全国各地でも通話できる。



※地方譲与税

国税として徴収した特定の税目の収入の全額又は一部を、地方公共団体に譲与するもの。

平成29年度 当初予算を **可決**

総額27億6593万円 のむらづくり

一般会計18億7116万円

前年度比 0.5%(1002万円) 減

おもな歳入

- ◆村税 7億5214万円
- ◆地方交付税 4億2925万円
- ◆国・県支出金 2億2898万円

おもな歳出

- ◆村道改良事業費 1億3361万円
- ◆消防団ポンプ車両新規購入費 4320万円
- ◆I P無線機新規購入費 350万円
- ◆魔王神社裏山登山道の迂回路整備費 200万円
(詳細はP4~5)

昨年度同様、積極的に国・県支出金などの特定財源(*)を活用し、財源が補われています。

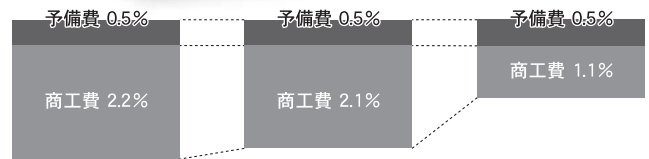
※特定財源

使い道が決まっている財源のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金などのこと。

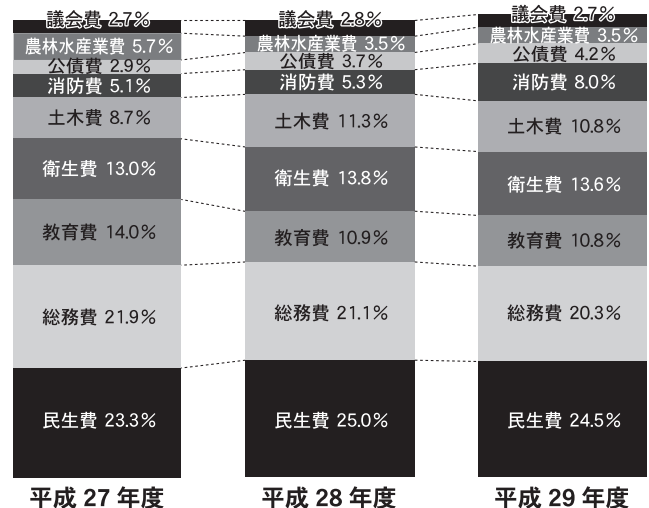
平成29年度一般会計・特別会計予算額

会計名	予算額	増減率 (前年度比)
一般会計	18億7116万1千円	△0.5%
特別会計	国民健康保険	4億9889万4千円 △2.1%
	簡易水道事業	1億2929万1千円 6.4%
	介護保険	2億2149万7千円 △0.6%
	介護予防支援事業	115万円 165.0%
	後期高齢者医療	4393万2千円 4.1%
合計	27億6592万5千円	△0.4%

一般会計予算の推移



※数値が低いため拡大してあります。



予算推移の分析

一般会計の支出分類からみると、消防費が大幅に増加しています。

これは、消防車両購入等、消防・防災対策の充実強化のための費用が増加したことによるものです。

また、少子高齢化の影響により、歳出のうち民生費の占める割合は依然として高く、臨時福祉給付金の支給や、福祉・医療費に大きな予算が見込まれています。

一方で商工費は、東海自然歩道一本木登山口周辺公衆トイレの建設工事が完了したことなどにより、大幅な減少となりました。

議会が注目する事業はこれだ!!

3月17日の議会最終日、村長から提案された当初予算案を全会一致で可決しました。このページでは、平成29年度予算に盛り込まれた注目事業を一部取り上げました。

導入後25年経過した
小型ポンプ車両



消防ポンプ車両を更新

4320万円

導入から25年経過して老朽化していたポンプ車両2台が更新されます。オートマ限定免許でも運転できるよう、オートマ車両を導入予定です。運転や操作がしやすくなり、これまで以上に迅速で確実な火災対応が期待されます。

現在使用中の無線機



災害時情報伝達手段としてIP無線機を導入

350万円

災害時に役場職員間で使用する移動系防災行政無線機器が老朽化しているため、携帯電話回線の通信網を利用したIP無線機が導入されます。導入費用も安価に抑えられ、携帯電話が繋がる場所であれば全国どこでも使用できます。

急勾配の登山道



魔王神社裏山の登山道に迂回路を整備

200万円

魔王神社裏山から、三湖台へと続く登山道に、迂回路が整備されます。現状の急勾配になっている箇所に迂回路を作り、気軽に利用者が登山を楽しめるよう整備することにより、さらなる利用者の増加が期待されます。

富士北麓障害者基幹
相談支援センター ふじのわ



障がい者やその 家族の相談態勢が充実

159万円

障がい者やその家族からの相談に総合的に応じる「富士北麓障害者基幹相談支援センター ふじのわ」が、鳴沢村ほか富士北麓6市町村の共同で富士吉田市役所内に開設されました。各市町村からの負担金により運営されます。

誘致候補施設のひとつ
生き生き広場



東京2020 オリンピック競技大会の 事前合宿誘致を目指す！

100万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、富士河口湖町と協力し、鳴沢村を含む富士北麓地域への事前合宿誘致のための取組が実施されます。国際交流やスポーツの振興、観光地としてのレベルアップなども期待されます。
(詳細はP11)

イベントで活躍する
なるシカくん



なるシカくん グッズで村をPR

44万円

平成27年度に誕生した村のゆるキャラ「なるシカくん」のキャラクターグッズが作成され、村のPRに活用されます。鳴沢村となるシカくんの知名度も上がり、さらに人気者になるかも？

築55年の役場庁舎



新庁舎建設の 基本構想・基本計画の策定に着手

319万円

建設から55年が経過し、老朽化の問題や災害拠点としての機能面などに不安を抱える役場庁舎について、今後の整備の方針や計画などを総合的に検討するため検討委員会が立ち上げられる予定です。

当初予算をチェック!

村の予算は、もっとも身近な予算です

予算決算常任委員会

委員長 小林 昭一

予算決算常任委員会に付託された平成29年度当初予算案について、3月13.14.15日に委員会を開催し審査した結果、いずれも賛成全員にて原案のと

おり可決すべきものと決しました。

ここでは、新年度一般会計予算に対するおもな議論をご紹介します。

指名競争入札参加受付システム

問 渡邊政司 入札共同化に伴うシステムとはどのようなものか。

答 総務課長 山梨県市町村総合事務組合において構築した指名競争入札参加受付のシステムを共同で利用するものである。受付事務を総合事務組合で一括処理し、各市町村へ資料を転送する仕組みで、これにより業者側の申請手続きコストも削減される。

新庁舎建設の検討

問 渡邊政司 新庁舎建設の構想を練るにあたって、住民の意見等を取り入れていく予定はあるか。

答 総務課長 新庁舎の建設にあたっては、新庁舎の必要性や基本理念、庁舎が備えるべき機能、建設場所、スケジュールなど諸々のことについて検討していくわけだが、その検討委員会のメンバーに、村の各団体の代表者や若い世代の方などを選定し、住民の意見を反映させる考えである。

村職員の人事評価

問 三浦利雄 公務員の人事評価は、例えば民間でいう販売実績などのような明確な数値指標がなく、苦慮されていると思う。評価にあたっては目標の設定方法が非常に重要かと思うが、どのように指導しているか。

答 総務課長 村の長期総合計画や総合戦略などに基つき、まず大枠の目標設定をする。次に、それに向けて各課の所管業務における目標を所属長を中心に考え、部署の目標を達成するための個別の計画を立て、目標値を設定する。計画・目標値の妥当性等については、所属長と課員との面談により指導・調整する。この作業は、人事評価という面だけでなく、事業を進める上での優先順位がより明確になるという利点もある。

セリエール村との交流

問 三浦利雄 本村の姉妹村であるフランスセリエール村との交流を再開することだが、どのような理由で、どこまでの範囲で再開する予定か。

答 企画課長 東京オリンピックのホストタウン申請に際し、相手国との交流が認定条件となっており、セリエール村側に意向を確認したところ交流再開の希望があったため、再開することとした。今回は特産品や子どもたちの描いた絵、写真等の交換など、簡易的なかたちで長く続けられるようにと考えている。

防災士の活用

問 佐藤博水 防災士の資格取得者について、何らかの組織を立ち上げ活動してもらおう考えはあるか。

答 総務課長 昨年度は2名の資格取得があったが、取得者が6名くらいまで増えれば、防災訓練の際に防災士の方々が中心となって指導したり、地域防災に関する提案などをしていただきたいと考えている。

被災時の業務データの復旧対策

問 渡邊明雄 業務データ等について、遠隔地でバックアップをとり、被災時にはそれを届けてもらい復旧させるという態勢をとっていることだが、クラウド(※)を活用すればより迅速な復旧が可能かと思うが。

答 企画課長 費用面を含め検討していきたい。

※クラウド(コンピューティング)

インターネットなどの通信により、遠隔地に設置されている情報関連機器を利用できるサービス。

村民カレンダー

問 佐藤博水 村民カレンダーは年度単位での作成であるが、4月は行事が多いため年度始めの内容を早く知りたいという声を聞く。なにか対応は。

答 企画課長 翌年度のカレンダーをなるべく早く発行するなど、何らかの対応策を検討する。

鳴沢いきやりの湯

問 小林清一 今後大規模な修繕等が発生する可能性があるとのことだが、現時点で想定されているものはあるか。

答 企画課長 外壁がかなり老朽化しており、全体的な補修が必要と思われる。機械系統の故障等については、通常の修繕費の範囲内で概ね対応できている。

介護予防支援事業

問 三浦利雄 今年度より事務費操出金が予算計上されているが、その理由は。

答 福祉保健課長 今年度より、地域包括支援センターで介護予防サービス計画・ケアマネジメントの作成や給付管理を行う介護予防支援システムが稼働し、その管理費用へ充当するため操出金を予算計上した。

人間ドック

問 渡邊政司 人間ドック基本項目受診者の予算計上人数が減っているが、その要因は。

答 福祉保健課長 元々ある程度多めの人数を予算計上しており、実績に応じて若干減らした。昨年度よりクアハウス石和を受診施設として追加したが、想定より利用者が少なかったことも減少要因となっている。

トレーニングルーム

問 小林利雄 トレーニングルームについて、インストラクターの配置を希望する声もあるが、そのような考えはあるか。

答 教育長 検討していきたいが、現状では難しいと思う。

保健センター

問 小林利雄 保健センターへ火災通報装置を設置しないこととなったのはなぜか。ボランティアセンターとして活用するなら必要では。

答 福祉保健課長 消防法令上、機能訓練を行う施設は火災通報装置の設置義務があるが、機能訓練である「いきいきサロン」の実施会場を総合センターに変更したため、設置義務がなくなった。

屋内テニスコート場

問 三浦直樹 屋内テニスコート場のコートは状況次第で大規模改修を検討する必要があるとのことだが、どのような改修が見込まれるか。

答 教育長 費用面を考慮すると昨年度と同様の工法での修繕を想定しているが、状況によってはさらに大規模な改修を検討しなければならないと考えている。

小学校の管理運営

問 小林清一 室内空気環境測定調査は定期的に実施しているものか。これまでの調査結果は。

答 教育長 定期的に実施している。数値等の詳細な報告はなく、異常があったときは報告があると思われるが、これまでそのような報告はない。

ゴミ出しのマナー

問 佐藤博水 可燃ごみの中に資源化物が混入しているため可燃ごみが増加しているとのことだが、なにか対策は考えているか。

答 住民課長 担当者が定期的にパトロールを実施しているが、出されているごみについての指導は難しく苦慮している。これまでのように広報等での啓発や、農前・区民総会でごみ出しマナーの周知を図ろうと考えている。

26件の質疑がありましたが、その内の15件を掲載しています。

村当局には、厳しい財政状況のなか
創意工夫をこらし、審査の過程で委員
より出された質疑・意見を予算執行に

活かし、平成29年度も健全な財政運営
を行うよう求めました。